

令和7年度第4回_川越市障害者施策審議会 会議録

開催年月日	令和8年2月2日(月) 14時30分～15時40分
開催場所	川越市総合福祉センター3階 社会適応訓練室
出席委員	高橋会長、増田副会長、大塚委員、大西委員、加藤委員、小川委員、大野一美委員、大島委員、大野操委員、樫村委員、山田委員、野沢委員、長谷部委員、峯岸委員、栗林委員、柳井委員
事務局	福祉部 新井部長 福祉部障害者福祉課 岡安課長、木村副課長、小沼副主幹、田中主査、細村主任、小野寺主任 こども未来部療育支援課 川上課長
欠席委員	氣仙委員、岡村委員、飛松委員
傍聴人	0名
議題	アンケート結果から見えてきた課題と次期計画に向けて
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・川越市障害者施策審議会委員名簿 ・資料1 アンケート結果から見えてきた課題と次期計画に向けて ・資料2 川越市障害福祉に関するアンケート報告書(案)
審議結果概要	<p>議題について、主に次のような意見が出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者週間の集いに関わる機関を増やしてより広く周知啓発を図る取り組みをしてほしい。 ・移動支援等、外出支援を充実させてほしい。 ・ヘルパー等、福祉の人材不足が補える施策を進めてほしい。 ・重度に対応したグループホームの必要性が今とても高まっているため、総量規制はかけないでほしい。 ・教育現場での福祉教育が必要。教職員に合理的配慮の事例を共有し、一層学校現場における合理的配慮を充実させてほしい。学校のハード面でも合理的配慮も進めてほしい。 ・就労継続支援B型や生活介護が増えている。指定時に条件を付ける等、質を上げる工夫をしてほしい。 ・どのようなサービスや制度あれば重度の方がグループホームで暮らせるようになるのか、当事者の方や事業者の方の意見を伺う必要がある。 ・障害の種別に関わらず、医療と福祉の連携を充実させてほしい。 ・デマンド型交通に関して、高齢分野だけでなく障害分野からの意見も吸い上げてほしい。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
事務局	【開会】
会長	【会長挨拶】
事務局	【会議の成立確認】 【資料確認】
会長	【会議公開の承認】 ※傍聴者 0 名
事務局	【議題 アンケート結果から見えてきた課題と次期計画に向けて】 資料 1 に基づき説明。
会長	議題について事務局より説明をいただいた。意見、質問等あるか。
委員	区分 6 の重度の精神障害者を受け入れるグループホームが少ない。近隣市を探しているが見つからない。報酬制度そのものも重度の人を差別している（※）。差別が解消されるような施策をお願いしたい。 ※区分 6 の重度の人が安心してグループホームで暮らしていくには、夜間 2 人体制にできる報酬制度と出前研修をして質を高める行政の支援体制が必要であるという意図での発言。
事務局	市内の重度の方を受け入れるグループホームは 95%以上埋まっている状態。受け皿の不足は事実。報酬制度については事業者側も取れる加算を取っていないケースがある。分かりやすく事業者側に周知して適切な加算が取れるよう体制整備を進めたい。
委員	差別解消について、アンケートでは障害者に関わったことがある方が差別意識が強いという結果。怖い思いをしたということだが、もともとの障害特性を理解してもらえるようにしなければ。 また、障害者がなかなか外に出ていけない、出ていくにも家族の負担になることがあるため、移動支援等の政策を進めてほしい。そして全国的にヘルパーが不足しているが、それを補うような政策をお願いしたい。相談支援についても相談を受けるところから一歩進んで、障害理解を進める施策を考えてほしい。就労に関しては、受け入れる側も障害理解を進め、働く側も、学校ではなく働く場という意識も必要だと思う。個別の相談から一歩先の施策を考えていただきたい。
事務局	まず移動に関しての支援については、ヘルパー不足は本市だけでな

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	く全国的に問題となっている。入所施設でも移動支援が利用できるという考えは国から示されているが川越市においては、適用範囲にない。今後、検討を進めてまいりたい。次に就労支援については相談で止まらず、受け入れた側の企業側の理解促進等、体制整備を行う。また企業側が相談先を知らない状況もある。県には制度があるが、川越市に制度はないので、どこに困りごと相談すれば良いか、障害理解促進とあわせて企業側に周知を進めたい。
委員	もう1点、最後の21ページで(3)次期計画の方向性というところで、既存の社会資源を活用した地域生活支援拠点の機能強化を進めるとある。これは必要なことで推進してほしいが、先ほどの就労の相談と同じく、その先の社会資源が不足していると思う。せっかく拠点で相談を受けてもその先がないとサービス利用に繋がっていかないのでは、特に暮らしの場などを考えていただきたい。
会長	他に意見等あるか。
委員	障害者理解のために子どもの時から触れ合う機会があれば良いと思うが、例えば、福祉事業所に小学生が見学に来るとか、そういった事業はあるか。
事務局	社会福祉協議会の事業だが、学校教育の場で福祉教育を行ったり、地域住民に対しての理解促進事業を行ったりしている。市の市長部局では具体的な施策はなく、現状は社会福祉協議会や各学校で行っている。
委員	学校単位で自主的にやってるっていう意味合いでよいか。障害者支援計画上にはないということか。
事務局	障害者支援計画の中では明確に定めはなく、各学校や教育委員会で進めている事業となる。
委員	計画に載せると、より障害への理解が深まると思うのでお願いしたい。
委員	学校との連携について、学校の総合学習で、小学校4・5年生が施設

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	見学をする。その後、施設側が入居者と一緒に学校に行き、福祉教育として講演をした。また地域連携として、地域の方々との推進会議、地域の代表者に施設を見てもらった。障害の理解のためそういった活動を行っている。
会長	他に意見等あるか。
委員	<p>2点ある。1点目は障害者週間の集いについて、驚いたのは、施設やグループホームの利用者は参加が31%とあるが手帳所持者、特別支援学校の生徒では5%ぐらいになること。また差別解消法の方は逆に障害のない市民の方が認知度が高いということ。これは対象が一般の会社等というところが要因か。これをどう捉えれば良いかというのが感想。このアンケート結果を踏まえて検討したいのは、資料1の5ページの(3)次期計画の方向性(案)の中の2交流機会の創出。「検討の方向性」は良いと思う。さらに希望として、障害者週間の集いは障害者基本法の中で定められた国を挙げての取り組みなので、市内の会社法人や商工会議所、学校等といった関わりの幅を広げることを明文化してほしい。</p> <p>2点目は資料1の9ページ、施策分野3保健・医療サービスの充実の中で自由記述の抜粋の6番に相談しても何も解決しないので薬をもらうためだけの診療になっているという意見がある。10ページ(3)次期計画の方向性(案)の3、医療と福祉の連携体制の強化とあるが、具体的な施策で障害者の医療も進んできていることを実感する部分もあるが、通所施設で身体障害の人や身体と知的の人を受けられない場合がある。解決策として訪問看護と施設の連携を図る方法がないかと思う。また訪問医療について、利用するにはかかりつけ医にならないと来てもらえないという大前提があるが、制度的な枠を超えて連携の中で柔軟かく運用することを期待したい。</p>
事務局	<p>1点目について、資料1の5ページ(3)の2、交流機会の創出については関係人口を増やしていくという趣旨でのご質問かと思うが、商工会や学校、その他市内にある企業等、関係機関を増やすことを計画に明文化して落とし込むかについては検討したい。委員がおっしゃる通り、固定メンバーだけでなくもっと輪を広げていくことを市の方でも進めたいと考えている。</p> <p>2点目について、医療と福祉の連携だが、医療の部分は市の所管で</p>

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>ない部分もあり、障害者支援計画に載せるのは少し難しい。国・県等で第8次医療計画があり、現在、第9次医療計画の策定を進めている。その中で医療と福祉の連携がテーマとして掲げられ、議論されている。精神障害の分野では、「にも包括」が一つトピックとして挙がっているが、この部分の医療と福祉の連携については川越市も少しずつ進めているところである。一方で身体障害や知的障害の部分はまだ連携する仕組みはできていない。市は県が進めている医療計画について、意見する機会があるので、今回いただいた意見も市の方から伝えていきたいと考えている。</p>
会長	他に意見等あるか。
委員	<p>障害者週間の集いについて認知が非常に少ないと思う。障害者週間の集いは立ち上げからずっと関わってるが、今までと同じように行っているのは、認知度を上げるのは無理ではないか。お知らせを個別に出してもらおうとありがたい。</p> <p>次に、移動に関する事で交通政策課と関わっているが、(デマンド型交通)「かわまる」は3地区で3台しかなく、予約も取れない状態とのこと。利用者は高齢者が非常に多い。今後、予約できるの時間が変わるようだが、利用について高齢者が中心で障害者のことが話題に出ない。できれば、障害福祉課の方からも、交通政策課に話をしてほしい。また障害者週間の集いについてはもっと企業、商工会をどんどん使って周知して、皆さんに参加していただくと良い。こどもたちに、障害者週間の集い、スポーツ大会などを周知し障害を知ってもらいたい。</p>
事務局	<p>障害者週間について、認知がここまで進んでいないことは市も把握できていなかったもので、今後、周知について工夫をしていきたい。また交通政策につきましても、障害支援計画の中でも、交通政策課が所管する事業を盛り込んでいるので、次期計画を策定するにあたっては、交通政策部門と調整をしてより良い政策に繋がる調整をしていきたいと考えている。</p>
会長	他に意見等あるか。
委員	資料1、21ページ、福祉サービスの充実・向上について伺いたい。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>次期計画の方向性に「重度障害者に対応した短期入所施設の整備促進」とあるが、短期入所施設では親がなきあとの安心した終のすみかとはならない。一方で入所施設や重度に対応したグループホームの必要性が今とても高まっている。</p> <p>厚生労働省が2027年からグループホームの総量規制をかけるという話も聞いたが、グループホームを必要としている障害者が増えている中で、総量規制はかけないでいただきたい。短期入所施設だけではなく、重度者に対応したグループホームや入所施設の施策を進めていただきたい。</p>
事務局	<p>短期入所だけでなくグループホームも含めた施設の確保を進めていきたい。入所施設については、国や県の考えに整合させる必要があるが、グループホームについては現状総量規制をかけることは考えていない。</p>
委員	<p>資料1、11ページ療育体制及び学習機会の充実について伺いたい。次期計画の方向性に「学校生活における合理的配慮の充実」とあるが、車椅子の生徒に対し、修学旅行や運動会に親の付き添いを頼むという事例を聞いたことがある。これは合理的配慮ではない。このような事例を、教職員に共有し、一層合理的配慮を充実させてほしい。障害者の自分の力で修学旅行や運動会に行きたいという気持ちに共感して欲しい。それが合理的配慮という法の根幹ではないかと考えている。</p>
事務局	<p>合理的配慮について、事例の共有も行ったうえで教職員に協力いただけるように働きかけていく。また、事例については学校教育部門の学校管理課に申し伝える。</p>
委員	<p>資料1、17ページ雇用・就労の促進について伺いたい。</p> <p>次期計画の方向性に「就労支援事業の充実と就労機会の拡充」とあるが、川越市は就労継続支援B型や生活介護の事業所が増えているように感じる。川越市は指定権者であるため、事業者にとっては開設場所から申請窓口である市役所が近く、事業所を開設しやすいと感じる面もあると聞く。</p> <p>近隣市町村と比べると数多くの開設相談が来ると思うが、ただ増やすだけでなく、指定時に条件設ける等、整備する事業所の質を上げ</p>

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	るような工夫をしてほしい。
事務局	報酬改定等も行われているため、その内容が指定基準にも反映されていくと思うが、市としては、指定基準を満たした事業所は指定をする必要がある。ただし、就労継続支援B型は総量規制の対象施設であるため、市の障害者支援計画の見込み量を超えた場合は、規制を検討することとなる。質の向上については、今年度、グループホームを対象に国のモデル事業を活用して事業所職員への研修を実施した。通所施設についても今後検討したい。
委員	重度の方も利用できるグループホームの整備が進まない。 どのようなサービスや制度あれば重度の方がグループホームで暮らせるようになるのか、当事者の方や事業者の方の意見を伺う必要があるように感じる。 市単独でグループホームの整備を進めることが難しくても、意見を県や国にあげていただいくのも必要だと思うので、ぜひ一歩進める施策をお願いしたい。
事務局	意見を踏まえて適切どころで国や県にも伝えていく。
委員	学校現場の合理的配慮について伺いたい。 建物が古い関係もありバリアフリーになっていない部分がある。 例えばエレベーターがなくて、給食用のエレベーターを使って移動する、段差があつて車椅子を持ち上げて移動するということが意外と多い。今後はハード面の合理的配慮も、ぜひ進めていただきたい。
事務局	いただいた意見は、校舎の改修等を行っている教育財務課に伝える。
会長	【その他】 その他、委員からの報告事項はあるか。
委員	2月6日の令和7年度 川越市障害者福祉施設連絡協議会 第2回 学習会を開催予定。講師として会長をお招きしている。 ぜひ参加いただきたい。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
会長	事務局から何かあるか。
事務局	次回会議の日程について 次回の会議は令和8年5月ごろ開催予定。 会場含め、正式な案内は追って通知する。
会長	委員から質問等はあるか。
委員	特になし
事務局	【閉会】 以上で、令和7年度第4回障害者施策審議会を終了する。
	以上